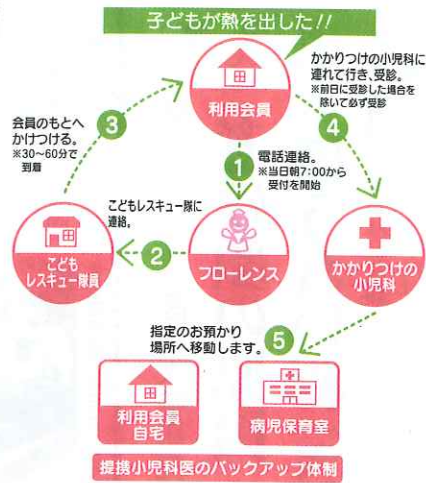


# 港北に新たな病児保育サービス

## NPOが企業・行政と協働でスタート



フロレンスが今回開始したのは、生後6か月～小学6年生の子どもを持つ区内在住の共働き家庭を対象に、子どもが風邪などの病気になった時に提供する病児保育サービス。利用方法は①事前に会員登録を行う②病気がなった時に会員から電話連絡を受けたスタッフ

フが自宅を訪問③子どもを各自のかかりつけ小児科で受診させた上で、会員宅等で預かる(図参照)。

以前から、フロレンスは港北区内で病児保育事業の展開を検討。そんな中、ゴールドマン・サックスから地域貢献活動の一環として寄付(1428万円)の

都内や川崎市などで病児保育を展開するNPO法人フロレンス(駒崎弘樹代表理事)が、ゴールドマン・サックス証券(株)(持田昌典社長)から寄付を受け、12月から港北区内で新たに病児保育サービスをスタートさせた。横浜市も自治体の補助金に頼らない、「新たな保育サービス」と位置づけ、広報面から支援を行う。

申し出があり、今回の実現に至った。運営費は、寄付に加えて利用者からの料金で賄われる。横浜市は、港北区役所窓口でサービスの紹介を行うなど、広報活動で支援する方針だ。

### ひとり親にも支援を

働く親の大きな悩みの一つに、「子どもが熱を出したときに保育園では預かってくれない」という声が多い。フロレンスによると、病

児保育施設は全国に850弱程度で「極めて少ない」と指摘。横浜市が行う医療機関併設型の病児保育室は、2010年11月現在で市内11か所、港北区内でも1か所のみ。今後、市は2014年度末までに27か所に拡充していく計画だ。

また、横浜市のひとり親世帯数は約1万8000世帯(05年)。母子家庭の45%が世帯収入300万円未満という現状だ(08年調

査)。フロレンスも、同額未満のひとり親家庭に対して(児童扶養手当等の受給家庭も対象)、入会金・年会費無料で、月会費1050円を払うと月1回利用でき、月2回目以降は1時間1050円で利用できるサービスも併せて開始した。

市は「民間のサービスが充実していくことは大変望ましいこと」としている。

利用申込みは[www.florens.or.jp/user](http://www.florens.or.jp/user)